第５次小平市こども読書活動推進計画（素案）に対する
市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

１　実施の概要

実　施　期　間	令和６年１１月２６日（火）　～　令和６年１２月２５日（水）	
意 見 提 出 者 数		1団体、２人
提　出　方　法	持　参	２人
	郵　送	０人
	市ホームページ	０人
	電子メール	１団体
	ＦＡＸ	０人

２　ご意見に対する対応状況

反　映　状　況	件　　数
反映済み	3件
反映する	4件
反映しない	0件
参考意見	2件
合　計	9件

※ 市民意見公募（パブリックコメント）の結果の公表にあたっては、とりまとめの都合上、
いただいたご意見を一部要約する等の整理をしています。

３　市民意見公募（パブリックコメント）に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
１	令和５年度の「学校司書」への名称変更、勤務日数の拡大に加え、今回の第５次小平市こども読書推進計画（素案）では、学校図書館の重要性についてより多く言及されており、大変良いと思う。これまで、仲町図書館館長と学校図書館相談員に学校図書館の現在の状況について話を伺ったり、また４校の学校図書館(中学校１校、小学校３校)を見学させていただき、学校司書の方々にもお話を伺った。その中で印象深かったことは、第一小学校で、Ｐ２６の学校等における読書活動の推進で、具体的な取組の１番に挙げられている、「学校図書館指導年間計画の作成と実施」が実践されていたことである。学期ごとに司書教諭や担当教員と学校司書が話合いを持ち、学校全体で読書活動の推進に取り組んでいる様子が伝わってきた。学校図書館も活気があり、こどもたちの読書への関心も高いように見受けられた。	学校図書館相談員や学校司書が、引き続き学校図書館の支援を行ってまいります。	参考意見
２	今後学校図書館の利用率を高めるには、第一小学校の実践例の様に、授業内でこどもと本との関わりあいをいかに深めるかが重要で、学校が主体となって学校図書館を活性化していく必要があると考える。学校図書館の館長である校長をはじめ、司書教諭や担当教員と学校司書の連携をなお一層深め、授業でこどもたちが本に親しむ機会がますます増えるようにしてほしい。市立図書館はそれを積極的にバックアップしてほしい。	学校図書館の利用率を高めるためには、学校長、司書教諭及び担当教諭の理解と、学校司書などとの連携が不可欠です。市立図書館としても、学校図書館活性化のために教育委員会内での連携を図るとともに、学校司書研修において具体的取組について検討します。	参考意見
３	近隣の小中高校の学校図書館と市立図書館は、つながりをもっと深めてほしい。例えば、図書館主体の小・中学生向けの企画で、夏休みおすすめ本の紹介や、中高生向けに魅力ある図書館利用の利点を紹介、事業開催等について図書館から司書教諭や学校司書へ共有すると、そこからこどもへ情報が届き、図書館へ足を向ける気力や行動につながると考える。	市立図書館から近隣小・中学校への図書館事業への案内はこれまでも行っています。夏休みおすすめ本リストやイベント募集のチラシを全児童・生徒に配布したり、学校掲示用のポスター等を各校に配布して周知しています。幼稚園・保育園、高校にも、対象となる事業に関してはチラシ等の配布を行っています。引き続き連携に努めてまいります。	反映済み
４	図書館・地域における読書活動の推進の具体的な取組項目をみると、所管部署が図書館となっていて、関係部署が斜線になっている箇所がある。関係部署が無いと示していることに違和感を覚える。関係部署に学校を加えることで、いくつかの項目では図書館と学校図書館とこどものつながりが確実に増し、良い効果が得られると考える。	Ｐ２４「第５章　具体的な取組」の中で、関連する取組について関係部署に学校を追加して記載します。	反映する
５	Ｐ４０からのアンケート調査結果は、元年度調査と共に表示されていて、比較がしやすく、Ｐ１３～２０までのアンケート調査の結果と分析も、第４次よりも詳細で課題が見えてきて良いと思った。	今回のアンケート結果と前回の第４次計画策定時のアンケート結果を比較できるようにしました。	反映済み
６	Ｐ１７の（４）適切な情報の収集における支援では、学校図書館における蔵書を適切に活用した情報活用能力の育成について言及されているが、これはこれからの情報化社会を生きるこどもにとって、もっとも重要な課題になっていくと考える。学校図書館ではもちろんのこと、市立図書館でも力を入れて取り組んでほしい。	Ｐ２７の「市立小・中学校の学校図書館の機能の充実」やＰ３２の「情報リテラシーの向上への支援」に記載のとおり、市立図書館でも取り組むべきものと考えています。	反映済み

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
７	第４次計画で新しく取り入れられた情報リテラシーの支援が、第５次計画素案では削除されている。自由研究が始まる夏休みに併せて、本を活用した情報の集め方、確かな情報を探す手段・方法を身に付けられるよう講座を開くなど、市立図書館でも引き続き取り入れてほしい。	こどもの情報リテラシーの向上を支援するために、情報の提供や資料の充実等について、新たにP３２「情報リテラシーの向上への支援」の取組項目を追記します。	反映する
８	P２６「具体的な取組」では「2.学習情報センター機能の充実」とある一方で、P２７「8.市立小・中学校の学校図書館の機能の充実」でも学習センター機能の記載があるのは不自然に感じる。	「2.学習情報センター機能の充実」と「8.市立小・中学校の学校図書館の機能の充実」の記載に重複する部分があるため、P２７「市立小・中学校の学校図書館の機能の充実」に追記することで内容を一本化します。	反映する
９	P３２「１３.情報発信・広報の充実」で、「ホームページをはじめ小平市公式 SNS 等を活用して～」とあるが具体的に何を使っているか書いた方が分かりやすい。	SNS 等のラインナップが変わることを考慮し記載していませんでしたが、P３３「情報発信・広報の充実」の中で、「LINE等」と書き方を変更します。	反映する